

令和6年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

代 表 質 問 通 告 表

質問 順位	質問者	質 問 事 項	質 問 要 旨
1	南風 櫻田 力	1. 幼少期からの防災教育の必要性和充実について	(1) 学校における防災教育のねらいと、その現状は。
			(2) 次世代を担う子どもたちに向けた防災教育の充実を図るには「学校における安全教育に、より実践的な防災教育を取り入れること」が必要と考える。 市教育委員会並びに市の見解は。
			(3) 地域防災力の強化には、次世代を担う子供たちの防災への関心の喚起と意識の高揚が非常に重要となる。それらを育む施策として「次世代防災リーダー育成のための『南アルプス市ジュニア防災士養成事業』の創設」を提案する。 市並びに市教育委員会の見解は。
		2. 「2050年カーボンニュートラル」の実現に向けた取り組みについて	(1) 本市は、2020年7月28日にゼロカーボンシティ宣言を行い、2050年二酸化炭素排出実質ゼロの実現に向けた取り組みを進めているが、その進捗状況は。
			(2) 第2次環境基本計画では、市民、事業者、行政が一体となり2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目指すとしているが、今後どのような推進体制と具体策を以て実現を目指すのか。

令和6年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

代 表 質 問 通 告 表

質問 順位	質問者	質 問 事 項	質 問 要 旨
2	新政南アルプス 村松三千雄	1. 南アルプス I C 周辺の開発プロ ジェクトの実現 に向けて	金丸市長3期目の市政公約に掲げる南アルプス I C周辺エリアの開発プロジェクトの実現に向けて、市は令和5年7月に「南アルプスIC周辺高度活用推進計画」を策定し、本計画を基に、東部・中央・西部のエリアごとに地域・地権者との合意形成や関係機関との土地利用調整を図るとともに、本年度よりプロジェクトチームを立ち上げ、全庁体制により、道路や上下水道などのインフラ整備や本エリアへの企業誘致に向けて、課題解決等に取り組んでいると認識している。これらを踏まえて。 (1) 南アルプス I C周辺の開発は、対象エリアが50 h a と非常に広範囲であり、その大半が農地であるため、この一大プロジェクトを実現するためには、市の上位計画である「第3次南アルプス市総合計画」と「都市計画マスタープラン」に明確に位置付けることが必要である。 そこで、現在策定中の「第3次南アルプス市総合計画」及び「都市計画マスタープラン」において、南アルプス I C周辺整備事業をどのように位置づけていくのか、市の方針は。 (2) 「南アルプス I C周辺高度活用推進計画」では、地権者の意向や農業に関する法律や都市計画法等の法令協議など検討課題が多い中、本計画の実現化方策において、開発を段階的に進めるなど効果的な事業手法の適用を検討していくとあるが、現在の進捗状況と今後の進め方、事業スケジュールは。

令和6年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

代 表 質 問 通 告 表

質問 順位	質問者	質 問 事 項	質 問 要 旨
2	新政南アルプス 村松三千雄		(3) 「新産業拠点地区」においては、fumotto南アルプスの地域交流エリアの先行オープンや、来春のコストコオープンを控え、さらに賑わいが創出されるものと期待しているところである。これにより、I C周辺への注目は高まるものと思うが、進出を希望する企業としては、本市への立地について検討する上において、I C周辺エリアの道路を含めたインフラ環境は重要な要素である。 そこで、本計画の「道路ネットワーク方針」で示されている幹線的な道路については、I C周辺エリアの開発に先行して取り組むことも必要であると考えますが、市の所見は。 (4) 南アルプスI C周辺エリアは「まちの玄関口」として、コミュニティバスや高速道路バスはもとより、あらゆる交通手段を受入るための場所が必要であり、リニア中央新幹線の開通までを見通した交通インフラ整備をすることが、この事業を市が手掛けるうえでの大きな意義であると考えます。 そこで、これまでの説明や答弁においても、交通拠点エリアは、観光や交通のハブ拠点として整備を進めるとのことであるが、その整備方針について市の考えは。

令和6年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

代 表 質 問 通 告 表

質問 順位	質問者	質 問 事 項	質 問 要 旨
3	躍進会 保坂 広人	1. 本市のひきこもり支援について	(1) 昨今、就職氷河期世代をはじめとして大人のひきこもりが社会現象化している中で、本市ではひきこもりの方々に対する支援に対して、基本的にどのような考え方をもとに行っているか。
			(2) ひきこもりの方々への本市の支援体制、支援内容は具体的にどのようなものか。
			(3) 国は「ひきこもり地域支援センター」設置のほか、身近な市町村での支援体制構築への財政支援として「ひきこもり支援推進事業」を設けているが、同事業の活用を含め、本市として今後さらにひきこもり支援の体制を強化していく考えはあるか。

令和6年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

代 表 質 問 通 告 表

質問 順位	質問者	質 問 事 項	質 問 要 旨
4	公明党 齊藤 博明	1. 「行政ドック」 （リーガル チェック）の導 入に向けて	自治体における行政手続の運用を適法・適正化するための実践的な取り組みが「行政ドック」である。分権時代の現在において、行政手続法・行政手続条例が適切に運用されているかを調査し、不適切な運用が確認されれば、政策法務的観点からこれを是正しようとするものである。「行政ドック」における中心的チェック事項は、「申請に対する処分」と「不利益処分」における行政手続法、行政手続条例の実施および適用の適切さである。 本市行政手続条例に沿って、適切な執行がなされているか伺う。 (1) 第2章 申請の処分 において、(審査基準)第5条、(標準処理期間)第6条、(理由の提示)第8条など、本市の運用の実態を示されたい。 (2) 第3章 不利益処分 において、(処分の基準)第12条、(不利益処分の理由の提示)第14条など、本市の運用の実態を示されたい。 (3) 上記確認した、南アルプス市行政手続条例における実施および適用については、適切と評価できるか。 (4) 「行政ドック」の導入に向け、本市においても具体的準備が必要と考えるが、見解は。

令和6年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

代 表 質 問 通 告 表

質問 順位	質問者	質 問 事 項	質 問 要 旨
5	未来創政の会 矢崎 俊秀	1. 子ども子育てのあるべき将来像と保育のあり方について	(1) 保育所のあり方が、全国的に公営から民営に運営主体が委譲されて、幼保連携型認定子ども園等の方向に舵が切られている。本市においても、近年民間企業が新たに保育に参入している。この背景に保育所設置の緩和政策が民間事業者の参入を容易にしている。そして公設から民営化の流れを加速させているのが公立保育所運営費の国庫負担の廃止と一般財源化等が影響している。つまり、公立保育所運営費が地方交付税措置になったことである。そこで、これらを踏まえて、保育の質の高度化への対応とともに、経営主体や施設管理を含めた本市の「子ども・子育て」に関するあるべき将来像（ビジョン）をどの様に考えているか。

令和6年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

代 表 質 問 通 告 表

質問 順位	質問者	質 問 事 項	質 問 要 旨
5	未来創政の会 矢崎 俊秀		(2) 保育の将来像については、公立保育所運営費の国庫負担の廃止と、一般財源化等の影響抜きでは、語れない側面がある。財政的側面に比重を置くと、民営化の流れに妥当性がある。 しかし、人口減少時代における経営の持続性や幼保連携などの保育と教育の両立など多様性への取り組みを考慮すると教育委員会の関与等の下で運営とする方向性に優位性や適正性がある。しかも、施設数の適正配置について、民営と公営のあり方をどの様に纏めるのかは高度な政策判断の領域にある。さらに、財政負担を増やしても小学校単位で保育機能を残すのか否か、難しい政治判断が求められるのではないのか。 そこで本市の保育施設の適正配置や運営主体をはじめ保育施設の維持管理のあり方などと共に民間保育との関係性など、今後の保育の方向性や、在り方（官民の保育所総体）について総括的にどの様に考えているか。
			(3) 本市の保育を認定子ども園等の制度導入で、子ども子育ての質を高めて、未来を担う「子ども子育て」に投資する考えは無いのか。

令和6年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）
代 表 質 問 通 告 表

質問 順位	質問者	質 問 事 項	質 問 要 旨
5	未来創政の会 矢崎 俊秀		(4) 本市の保育士は149名にあり、その雇用形態は、正規雇用77人と非正規雇用72人にあることから、ほぼ同数にあるが、このような雇用体制で適正な保育が出来るか。
			(5) 先月南海トラフ地震臨時情報が発令された。そこで過去に御勅使中学校や落合小学校においても、耐震調査は完了していたが、改修工事を進める中で目視できない部分の劣化状況が判明した経過から、新築や設計変更がなされている。このため、落合保育所の耐震性能の再検証とともに建て替えや適正な維持管理の必要性があるがどの様に考えるか。

令和6年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
6	南風 藤田亜由未	1. 次世代を担う子どもたちの健やかな成長を支える環境づくりについて	(1) 令和5年9月議会の代表質問の中で、子ども部局の創設について提案し、市長より「一番重要な部門だと考えており、前向きに進めたい」と答弁があった。その後の進捗は。
			(2) 本市は「こども・子育て応援都市宣言」をし、さらに子どもを応援していく姿勢を示した。子ども部局の創設に伴い、教育委員会との連携についてどのように考えるか。

令和6年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
7	新政南アルプス 三木 充	1. 放課後児童クラブ施設の充実について	本市においては15小学校があり、小学校区ごとに放課後児童クラブが設置されている。充実した本市の子育て支援の一翼を担う、重要な政策による施設だと認識しているところである。まず第一に安全・安心を考慮し、近年では小学校の敷地内、或いは隣接敷地内に建設をする傾向にある。 そんな中、若草地区藤田にある若草南学童保育施設は、築後20年程経過し、これからも児童数の増加が見込まれるなか、立地条件や規模・機能・設備の不足や不備がみてとれる。早急に移転を含め施設の改修が必要と考えるが、市の見解は。
		2. 市の水道事業について	上水道の管路の延伸は、上下水道局として事業化していないと認識している。その為、今現在においても、水は自家水に頼っている地域や一部の世帯も存在する。 安心・安全な飲料水の提供は自治体の責務だと考える。市としてこの状況をどのように捉え、対応していくか。

令和6年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
8	躍進会 北村千代子	1. 南アルプス市の 自治会について	(1) 自治会加入促進の取り組みについて 令和6年4月現在、市全体29,986世帯のうち、自治会へ加入している世帯は約7割であり、約3割は未加入の状態である。自治会の未加入により、自治会の運営や、担い手不足をきたしている。自治会への加入促進の取り組みについて、市はどのように考え、支援しているか。
			(2) 今後の自治会の在り方、運営の見直しについて 自主的な自治会活動を進めるためには、現在の活動の満足度、改善点、希望する運営や活動の在り方等について、それぞれの自治会の中で、意見交換をすることが、有効と考える。今後の自治会の在り方、運営の見直し等について、市ではどのように支援していくか。

令和6年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
8	躍進会 北村千代子	2. 市の花アヤメについて	(1) 市の花アヤメの周知について 南アルプスのシンボルであるアヤメは、櫛形町時代から親しまれ、花は清楚に咲き、市の花として誇れるものであり、平成30年には市の花として制定されている。アヤメの花を今後、南アルプス市のシンボルの花としてもっと市内外に広く周知していく必要があると考えるが、市の考えは。
			(2) アヤメを活用したまちづくりについて 市の花としてのシンボルであるアヤメを積極的に活用したまちづくりを行うことによって、市民の皆様をはじめ、fumotto南アルプスなどを訪れる市外からの観光客にも広くPRすることができると考える。アヤメを活用したまちづくりが必要と考えるが市の考えは。
			(3) 滝沢川河川公園のアヤメの管理について 現在、滝沢川河川公園には70個の花壇があり、その花壇の管理は平成28年から市はボランティアを募集し、年間の管理委託を行っているが、中には管理が十分でなく、雑草が繁茂している花壇もあり、またボランティアが見つからず、放置されたままになっている花壇も見られる。このような管理が十分でない花壇について、市ではこの状況をどのように考えているか。

令和6年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
9	公明党 河野木綿子	1. 子育て支援における伴走型支援強化について	議会において子育て支援における伴走型支援を拡充させる提言をしてきた。本市は、安心して妊娠・出産し、育児が出来るよう、様々な支援を途切れなく支援する事を目指している。産前産後に家事支援など含めた事業拡大が必要であり、つながりを強化できる伴走型の支援を充実させるべきである。令和5年12月議会での質問後の検討は。
		2. 多胎児家庭への支援について	(1) 多胎児家庭への支援を議会で提言し、令和4年1月からファミリーサポートセンター事業で多胎児の二人目以降が無料となった。それは、ファミリーサポートセンター事業のホームページで記載されている。本市では、多胎児家庭への支援について特化した案内はホームページにはない。そこで、さらに支援策を拡充すると共に、ホームページで「多胎児家庭支援事業」を掲載する考えは。
			(2) 保育所の入所に不安を感じる多胎児家庭からの声がある。入所の点数を加算するなどの考えは。

令和6年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
9	公明党 河野木綿子	3. 学童保育の環境整備について	(1) 現在、市公立保育所あり方検討委員会が立ち上がり、方針を検討している。同じように学童保育の運営方針についても検討会を立ち上げるなど、直営での運営か、民間への委託も考えていくのか等々、今後の考えは。 (2) 学童保育の利用者の方から夏季・冬季休みの期間中、弁当を持参させる事が、大変であるとの声をいただいた。利用者アンケート等を踏まえて、改善の検討の考えは。

令和6年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
10	小林 敏徳	1. 旧完熟農園開業に携わった方々に対して、今の市長の考えは	平成28年1月破産してから7年、今年の6月にやっとfumotto南アルプスがオープンした。来年4月にはコストコホールセール南アルプス倉庫店がオープンする予定になっている。 そこで旧完熟農園と一区切りをつける意味で、完熟農園開業に向けて尽力してくれた方々に対して、どのような気持ちでいるのか、市長の心の内は。
		2. 本市の農業の在り方に対する考えについて	「本市の基幹産業は農業です」と市長の説明要旨の中で謳っているが、どのような形が農業なのか、どこを何を見て、考えて基幹産業と言っているのか。基幹産業としての現在の具体的な取り組みは。

令和6年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）
一 般 質 問 通 告 表

質問 順位	質問者	質 問 事 項	質 問 要 旨
1 1	花輪 幸長	1. 櫛形山の観光振興について	櫛形山のアヤマも回復傾向にあると聞いている。観光振興として、櫛形山への日帰り登山も有力な観光施策と思うが市の考えは。

令和6年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
12	松野 昇平	1. 放課後児童クラブについて	(1) 「放課後児童クラブ運営方針」では、児童の来所・帰宅や傷病時および災害時に備えて児童の安全に関わる対応方針やマニュアルの作成が求められているが、本市の状況は。
			(2) 放課後児童クラブの老朽化や部屋が狭いこと等により、児童が安全安心に過ごし、多様な活動を行うことおよび利用状況等に様々な課題が生じている。施設整備および改修を進める必要があると考えるが、市の所見は。
			(3) 放課後児童クラブ支援員の人員確保のための取り組みや処遇改善および労働環境の整備について、市の所見は。
			(4) 本年3月議会において、土曜保育の実施や長期休み期間の早朝保育について質問した際に、市からは、「ニーズが高いことは認識している」「まずは、土曜開所を目指す」旨の回答があったが、その後の進捗について、市の所見は。

令和6年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
12	松野 昇平	2. 介護保険制度について	(1) 本年6月議会において、訪問介護事業者への介護報酬引き下げの影響調査について質問した際に、市からは、「緊急性については、十分認識している」「現状把握をおこない、県や国に要望していく」旨の回答があったが、その後の進捗について、市の所見は。
			(2) 地域のサービス提供体制の綻びによって、高齢者への影響を深刻化させないため、市独自の事業者支援が必要と考えるが、市の所見は。

令和6年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
13	保坂 健	1. 「PFAS」 (ピーファス)に ついて	(1) 本市において「PFAS」をどのよう に認識し、市内の河川や地下水の濃度等 の実態をどのように把握しているか。
			(2) 上水道における「PFAS」への対策 は。
		2. カメムシによる 農作物への被害 について	全国的に大量発生しているカメムシに より、本年度は、市内においても農作物 への被害が懸念されている。 カメムシ増殖の原因、本市における農 作物被害状況及びその被害対策につい て、市の所見は。